

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第7回光通信インフラの飛躍的な高度化に関する研究会

委員長 鈴木正敏 (KDDI 研)

副委員長 淡路祥成 (NICT)・宮本 裕 (NTT)・盛岡敏夫 (デンマーク工大)

日時 平成 26 年 2 月 27 日 (木) 9:30~11:30

会場 ネストホテル那覇 (那覇市. <http://www.nesthotel.co.jp/okinawa/>)

テーマ 空間多重伝送に関する国際動向報告と新規領域への取り組み状況報告

概要

光ファイバ通信における伝送容量の飛躍的な拡大を目的として、マルチコア/モードファイバを用いた空間多重伝送技術の研究開発が活発に行われています。これまで、空間多重伝送は長距離大容量のポイントーポイント伝送を中心に研究開発が行われてきましたが、最近では光ネットワークやデータセンタへの適用検討も進められています。今回の研究会では、ECOC2013 に設けられた、空間多重伝送に関係する二つの国際ワークショップの最新動向を御報告頂くとともに、空間多重伝送の光ネットワークやデータセンタへの適用に関する最新の研究状況を御紹介頂きます。多数の皆様の御参加をお待ちしております。

プログラム

[招待講演] ECOC2013 Workshop “SDM: How to migrate from point-to-point transmission to full optical networking?”

報告 淡路祥成 (NICT)

[招待講演] ECOC2013 Workshop “Integration of optical devices for SDM transmission” 報告

松尾昌一郎 (フジクラ)

[招待講演] SDN を用いた空間多重光ネットワーク制御 宮澤高也 (NICT)

[招待講演] データセンタ向けマルチコアファイバ技術 李 英根 (日立)

[招待講演] 電子情報通信学会 EXAT 研究会第 2 期総括 (仮) 鈴木正敏 (KDDI 研)

参加資格 特に関いません。

参加費 一般 3,000 円 学生 無料

参加申込 当日会場にて受付けます。

◎最新情報は、光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会 (EXAT 研究会) のホームページを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/~exat/>

◎本研究会に引き続き、27 日午後、同一会場にて OFT/OCS/OPE 研究会が行われます。また、研究会終了後 18 時頃より OFT/OCS/OPE/EXAT 研究会合同の懇親会を開催致します。併せての参加を御検討下さい。

【問合先】 EXAT 研究会幹事

福知 清 (NEC)

TEL [050] 3381-7623, FAX [044] 435-1096

E-mail: exat-contact@mail.ieice.org

主催 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会

●第 30 回情報ネットワーク・ネットワークシステム研究ワークショップ

基調テーマ:「生活インフラとしての情報通信ネットワークの展望」

情報ネットワーク研究専門委員会委員長 浅見 徹 (東大)

ネットワークシステム研究専門委員会委員長 漆谷重雄 (NII)

情報ネットワーク研究専門委員会及びネットワークシステム研究専門委員会共催によります、第 30 回情報ネットワーク・ネットワークシステム研究ワークショップを下記要領にて開催致します。奮って御参加下さいますようお願い申し上げます。また、お近くの方々もお誘い頂けると幸いに存じます。

趣旨

ちょうど 3 年前の東日本大震災では、情報通信ネットワークが電気や水道と並び我々の日常生活や経済活動を支える必須のネットワークインフラとなっていることを再認識させられました。従来、情報通信ネットワークは、有線/無

線／移動体／衛星通信などの様々な分野で研究開発・構築が行われてきました。現在では、スマートシティやスマートグリッド、スマートハウスといった ICT 技術が、私たちの生活で一層効率的なエネルギー利用を可能とする、電力と情報通信技術の新たな融合分野として大変期待を集めてきています。このようなスマートネットワークの分野では、電子機器や家電製品などあらゆる装置を相互に接続する特定小電力／マルチホップ無線通信の技術や、スマートメーターの通信・制御などを実現するセンサネットワーク／通信プロトコルが実用化されつつあります。また、10 年程前に一時話題となった PLC（電力線通信）技術も諸規格が整い、既設の電力線と通信の融合として再び注目され始めています。本ワークショップでは、今後新たな広がり期待される生活インフラに関連した通信技術について展望し、研究開発の方向性や課題について官庁／学術／産業界を代表する専門家の方々に御講演頂きます。更に今年は本ワークショップ主催研究会のネットワークシステム研究専門委員会が設立 50 周年を迎えるにあたり、特別記念講演も併せて開催致します。

日時 平成 26 年 3 月 5 日（水） 14：00～17：20

6 日（木） 8：30～12：00

7 日（金） 8：30～15：50

◎本ワークショップでは、平成 25 年度の「ネットワークシステム研究賞」及び「情報ネットワーク研究賞」の表彰を併せて行います。また、6 日午前、7 日 8：30～15：50 に同じ会場にて、情報ネットワーク研究専門委員会並びにネットワークシステム研究専門委員会併催の第一種研究会を開催致します。ワークショップと時間を分けておりますので、両方に参加可能です。是非、本ワークショップと併せて御参加下さい。

会場 宮崎シーガイアコンベンションセンター（宮崎市山崎町浜山。宮崎空港からタクシーで 20 分、バスで 32 分。

<http://www.seagaia.co.jp/index.html> TEL [0985] 21-1111)

基調テーマ：生活インフラとしての情報通信ネットワークの展望

講演内容：下記の“ワークショッププログラム（予定）”を御覧下さい。（内容、講演順序、時間等については変更する場合がございます。御了承の程、お願い申し上げます。）

プログラム

[第 30 回情報ネットワーク・ネットワークシステム研究ワークショッププログラム（予定）]

以下のプログラムを計画しております。最新の情報はワークショップホームページ（<http://www.ieice.org/cs/in/ws/2014/index.html>）で御確認下さい。

5 日 ネットワークシステム研究専門委員会特別記念講演

1. NS 研専委員長挨拶 漆谷重雄（NII）
2. [ネットワークシステム研究会設立 50 周年記念講演] 今後のネットワークの方向性と日本の研究開発への期待 片山泰祥（NTT）

ワークショップ

3. 運営委員長挨拶 浅見 徹（東大）
4. 招待講演（1）
 - ・我が国のスマートメーター政策の動向と東京電力の取り組みについて 由井聖太（原子力損害賠償支援機構）
 - ・スマートメータネットワーク技術 若宮直紀（阪大）
 - ・次世代型双方向通信出力制御実証事業—青森実証フィールドの実証概要— 片岸 誠（日立）
 - ・無線マルチホップネットワーク技術開発への取り組み 渋谷昭宏（三菱電機）

懇親会（NS 研究賞・IN 研究賞表彰式含む）

6 日午前 第一種研究会

ネットワークシステム・情報ネットワーク合同研究会（第一種研究会）一般発表

6 日午後 ワークショップ

5. 招待講演（2）
 - ・エネルギー分野向けの PLC 技術開発 弘津研一（住友電工）
 - ・スマートメータ通信システム 1：N 無線通信システムの紹介 松島 徹（NEC）
 - ・920 MHz 無線の動向とスマートメータへの活用 福永 茂（OKI）
 - ・The Technical Trends in Advanced Metering Infrastructure and Head End System Heath Thompson（ランディス・ギア）
 - ・NTT データにおける MDMS への取り組みと展望 野口 篤（NTT データ）
 - ・スマートメーター B ルートと HEMS アプリケーション 齊藤 健（東芝）

7 日 第一種研究会

ネットワークシステム・情報ネットワーク合同研究会（第一種研究会）一般発表

参加費 一般 30,000円 学生 15,000円

- ・参加費は当日受付にて現金でお支払い下さい。
- ・参加費は、ワークショップ資料代及び6日の昼食代を含みます。
- ・また、5日の特別記念講演、懇親パーティー費も参加費に含まれております。
- ・特別記念講演のみ参加の場合、懇親パーティーに参加されない場合、また6日の昼食をおとりにならない場合でも、上記参加費となります。御了承の程お願い申し上げます。
- ・同時開催致します第一種研究会の資料代は、参加費には含まれておりません。
- ・参加申し込み後のキャンセルにつきましては、キャンセル料をお支払い頂く場合もございます。あらかじめ御承知おき下さい。

宿泊に関する御案内

宿泊はワークショップ、第一種研究会の会場（シーガイアコンベンションセンター）近くのホテルとして、シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート及びサンホテルフェニックスをお勧め致します。また、旅行代理店とタイアップしまして、航空券と宿泊がセットになっておりますお得なパッケージを企画させて頂きました。詳細は後日公開させて頂きます。ワークショップ事務局では宿泊手配を申し受けておりませんので御注意下さい。

【ワークショップ参加申込み方法】

下記ワークショップのHPより申込用紙を取得し、所定事項を御記入の上、下記宛てにFAXまたはE-mailにより御送付願います。http://www.ieice.org/cs/in/ws/2014/index.html

【参加申込先】

中津川恵一（なかつがわけいいち）
（株）富士通研究所ネットワーク方式研究部
〒211-8588 川崎市中原区上小田中 4-1-1
TEL [044] 754-2765, FAX [044] 754-2741
E-mail : in-ns-ws30-registration@ml.labs.fujitsu.com

【ワークショップ全般に関する問合せ先】

ワークショップ全般に関しますお問合せは、以下の者が承ります。なお、参加申込（含：参加費に関するお問合せ）については、前項の参加申込担当（富士通研・中津川）宛てにお願い致します。

五十嵐弓将（IN研究会幹事）
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11
TEL [0422] 59-2873, FAX [0422] 59-5637
E-mail : in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

野村啓仁（IN研究会幹事補佐）
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11
TEL [0422] 59-3946, FAX [0422] 59-5637
E-mail : in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク研究専門委員会、ネットワークシステム研究専門委員会

●2014年情報通信マネジメントワークショップ

委員長 高野 誠

日時 平成26年3月13日（木）午後

会場 イーフ情報プラザ（久米島）

テーマ：ビッグデータとオープンデータがもたらす可能性とその管理

概要

ICTシステムに蓄積されるビッグデータを、様々な用途に利用することで、社会の利便性の向上を目指すオープンデータに注目が集まっている。しかし、ビッグデータの利活用の促進やオープンデータが普及するには、多くの課題が存在する。そこで、本ワークショップでは、ビッグデータやオープンデータの可能性を議論するとともに、その課題を運用管理の側面から議論する。

プログラム 未定

懇親会 13日のプログラム終了後に懇親会を開催します。また、本懇親会にて2013年のICM研究賞、ICM功労賞、

ICM 英語セッション奨励賞の表彰式を行う予定です。

【参加費と参加申込み】

参加費：未定

参加登録：ICM 専門委員会ホームページにてお申込み下さい。

参加登録締切：2月下旬（予定）

カジュアルウェアでの参加をお勧めします。

【問合せ先】

増田 健（NTT）

TEL [046] 859-2120, 4956

E-mail : icm-kanji@mail.ieice.org

主催 情報通信マネジメント研究専門委員会

<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>